

2013年3月1日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報11号
警察によるスラム街対策の実施

リオ州警察は、リオ市北部の複合スラム街「コンプレクソ・ダ・マレ」において犯罪組織掃討作戦を開始することを発表しました。

「コンプレクソ・ダ・マレ」は、リオ市中心部とガレオン国際空港を結ぶ幹線道路、通称「リーニャ・ヴェルメリャ」沿線に広がっており、警察の活動に抵抗して犯罪組織が発砲したり、逃走を試みて周辺の道路に混乱が生じるおそれがあります。

掃討作戦は今週日曜からカジュ地区（マレ地区の南端、ニテロイ大橋の入り口北側付近）で開始されることが明らかになっていますが、マレ地区は2つの麻薬組織と1つの民兵組織が混在しており、地区内の情勢が複雑であるため、従来よりも時間を掛けて慎重に進められる見通しとなっており、今後の予測がしにくい状態となっています。

リーニャ・ヴェルメリャ、アヴェニーダ・ブラジルを通行する際には、出かける前にマレ地区で異変が起きていないか確認するようにしてください。